

平成29年度 事業報告

平成29年度は、地域福祉推進の中核的機関として「互いに支え合い、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指し、次の5項目を重点目標に掲げて事業を展開してまいりました。①安心して生活できる地域福祉の構築 ②栗の子保育園の運営 ③介護保険事業等の運営の健全化 ④収益事業の充実強化 ⑤運営基盤の強化の5項目です。

・地域福祉構築の柱である「ふれあい・いきいきサロン」は、高齢者の見守り、とじこもり防止、介護予防を目的に、福祉協力員を中心として、区長、民生委員・児童委員、ボランティアの方々の献身的な活動により、年間延べ185回、5783人の参加があり、その成果は目をみはるものがありました。介護保険制度の改正に伴う地域支援事業の1つとして取り組んだ、「まちなかカフェ」は、ボランティアの方々の協力により運営し、1日平均10人の利用者がいました。

・子育て支援事業の「子育てサロン」ですが、今年度も、地域の協力により庄区・田中区・乙犬区・和田区の公民館で開催され親同士の交流や情報交換など成果を上げることができました。また、栗の子保育園は、地域の子育て支援事業として、「離乳食づくり・親子工作・赤ちゃんの手遊び・おやつ講座」にも取り組みました。

・障がい者支援事業の「障がい者サロン」につきましても、すまいるサロン、ふれあいサタデーに加え、すまいるサロンコンサートを実施し障がい者（児）の余暇活動の場、家族の介護負担の軽減や介護者同士の交流の場として成果を上げることができました。

・ボランティア活動は、センターの登録者が436人となり、様々なニーズに対応でき、活動の輪が着実に広がりをみせています。活動支援の一環となるボランティア養成講座については、夏休み福祉体験教室、精神保健福祉講座、視覚障がい者の外出支援ボランティア養成講座、認知症サポーター養成講座、手話奉仕員養成研修等、多岐に亘る講座を取り入れ、地域を支えるボランティア活動の担い手育成に努めました。

・運営基盤の柱となる会員制度と赤い羽根共同募金ですが、厳しい社会状況の中、各行政区の役員をはじめ関係の方々の精力的推進と町民の皆様の温かいご理解、ご協力により自主財源の確保を図ることができました。

・介護保険事業については、指定訪問介護事業から、訪問型サービスAに移行し、提供するサービスも身体介護から生活援助に移行しました。又、生活支援体制整備事業協議体を行政と連携しながら取り組み、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の推進に努めました。

・収益事業の充実といたしまして、衣裳貸出事業については、広報活動として新聞への折込チラシやホームページでPRを致しました。

仏舎利殿管理運営事業については、利用者が安心して利用でき、祭祀の継承が困難な方のニーズにも対応できるよう合祀墓を設置し、維持管理に努めました。

葬祭事業については、葬祭(登録)業者との連携を密にし、利用者ニーズに沿った効率的運営に努め、収益の一部を一般会計へ繰り入れることが出来ました。

【主な事業の報告】

1 地域福祉の充実

(1) ふれあい・いきいきサロン

- 延べ開催数 185回 延べ参加者 5,783人
- 福祉協力員数(21行政区) 222人

(2) ボランティア活動

- 団体登録 10団体
個人登録 95人 436人
延べ活動数 524回 延べ活動人数 1,809人
- ボランティア養成講座
夏休み福祉体験教室 受講者20人 講座6回
視覚障がいがいづボランティア講座
受講者12人 講座3回
認知症サポーター養成講座 受講者110人 講座4回
心の病や発達障がいについて知る講座
受講者9人 講座3回
手話奉仕員養成研修 受講者30人 講座21回
- まちなかカフェ事業
にしうらホッとカフェ 開所火～木 延参加者573人
おひさまカフェ 開所火～金 延参加者2,358人

(3) 児童・少年福祉

- 福祉教育読本の配付 小学校3校 350冊
- 福祉教材の助成 町内認定こども園 3園
- 子ども育成会へ助成

○ たのしい子育て講座

- 抱っこ法講習会 受講者23人 講座2回
- ベビーマイン体験教室 受講者19組 講座2回
- 幼児安全法講習会 受講者12人 講座1回
- 父親向け講座 受講者19人 講座1回
- 小物作り講座(髪飾り) 受講者13人 講座1回

○ 栗の子保育園子育て支援講座

- 先生と一緒に親子工作 受講者16組 講座2回
- 離乳食講座 受講者5人 講座1回
- 乳幼児の手遊び歌遊び講座 受講者3組 講座1回
- おやつ講座 受講者5組 講座1回

○ 子育てサロン

- ぐり'sママ 参加者(延べ) 139組 開催5回
- 庄区サロン 参加者(延べ) 113組 開催21回
- 乙犬区サロン 参加者(延べ) 420組 開催30回
- 和田区サロン 参加者(延べ) 351組 開催22回
- 田中区サロン 参加者(延べ) 113組 開催12回

○ ぐりっこだよりの発行 年12回

○ 産後支援・家事援助に係わるホームヘルプサービス

利用者 月平均2人

(4) 高齢者福祉

- しるば大学 受講者51人 14日間
- 老人クラブへの助成(老人クラブ活動・空き缶クリーン作戦)

- マッサージ・鍼灸への助成 109人
- 独居高齢者乳酸飲料配付 368人
- 高齢者の集い 参加人数 昼の部 541人
夜の部 381人
- 福祉餅つき大会 参加者 約180人
- ずっと安心スマイルライフ事業
相談 1件 契約(継続) 1件
- 家事援助に係わるホームヘルプサービス
利用者 月平均2人
- (5) 障害者福祉
 - 移送サービス 80件
 - 紙おむつ配付 2人
 - 身体障害者手帳1級所持者歳末助成 87人
 - 療育手帳所持者歳末助成 88人
 - 精神障害者保健福祉手帳所持者歳末助成 60人
 - 身体障害者福祉協会へ助成
 - すまいるサロン 参加者(延べ) 118組 開催12回
 - ふれあいサタデー 参加者(延べ) 24組 開催 4回
- (6) 低所得者への福祉援助
 - 生活福祉資金貸付
福祉資金5件 緊急小口資金16件 教育支援資金7件
- (7) 一般福祉サービス
 - 心配ごと相談(毎月2回弁護士・司法書士・相談員)
 - 福祉バスの運行
 - 初盆供養供え物配付 87件
 - 福祉用具の貸出
車イスの貸出 59件 79台

- ポータブルトイレ・介護用品等の貸出 69件
- チャイルドシートの貸出 20件
- 日常生活自立支援事業6件(H30.3.31現在契約中)
- (8) 広報活動
 - 広報紙「社協だより」の発行 年12回
 - ホームページの拡充
- 2 運営基盤の強化
 - (1) 自主財源の確保
 - 会員制度の推進 6,564件
 - 共同募金運動の推進
 - (2) 組織運営の充実
 - 理事会・評議員会の充実
- 3 介護保険事業
 - (1) 訪問型サービスA
利用者 月平均 19人
 - ホームヘルパーの研修による資質向上
 - 利用者ニーズに沿ったサービス提供
 - (2) 生活支援体制整備事業
 - 協議体 会議2回 研修会3回
- 4 収益事業の充実強化
 - (1) 衣裳貸出事業
 - 着付け教室の開催 受講者 4人 講座 12回
 - 宣伝活動の強化(ホームページ・リーフレットの作成)
 - (2) 仏舎利殿管理運営事業
 - 春・秋の法要 参拝者 春129人 秋111人
 - (3) 葬祭事業
 - 葬儀件数 葬祭場葬儀 175件 自宅葬儀 0件

栗の子保育園

一人ひとりを大切にしながら、子ども自らが周りの環境（自然・人・物）にかかわり、生活経験を豊かにすることを重視し、しなやかでたくましい心と体をもった子どもの育成を目指し保育を実施しました。

1 園児数

0歳	19人	1歳	28人	2歳	28人
3歳	32人	4歳	32人	5歳	35人

合計 174人

2 年間行事 ※新規行事

4月 入園式 進級式 内科検診 身体測定

5月 尿検査

6月 親子遠足 家族の日 お年寄り・ボランティアとの交流（園庭菜園） 歯科検診 ぎょう虫卵検査

7月 夏祭り プール遊び

8月 自然体験学習川遊び（ひまわり組のみ）
プール遊び

10月 運動会 園外保育 内科検診
社会体験学習 JR乗車体験
（ひまわり組のみ）

11月 ささりんピック（ひまわり組参加） 保育参観
お年寄り・ボランティアとの交流（園庭菜園収穫）
給食試食会 ※峰崎部屋交流（お相撲）

12月 生活発表会 クリスマス会 個人懇談
給食試食会 観劇会

1月 幼年消防クラブ出初式（ひまわり組参加）
歯科検診 尿検査 個人懇談

2月 節分 お年寄り・ボランティアとの交流（園庭菜園）

3月 ひな祭り お別れ会 卒園式 終了式

☆ 毎月 お楽しみ会 避難訓練

3 特別保育

・障がい児保育 18人（要支援児含む）

・延長保育（保育時間18時～19時）
月平均431人 延べ5,172人